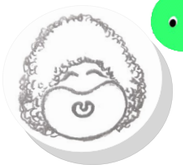
三田市相談支援センター

三田市精神障害者支援センターの平成２９年度年間行事予定（下記表）です。

沢山の参加お待ちしております。詳しくはあすなろ新聞、チラシ等でお知らせします

日　　時	場　　所	内　　容	講　　師
平成２９年10月21日(土)	三田市総合保健福祉センター	リカバリー志向の就労支援	畝木奈津恵さん
平成２９年12月　（土）	三田市総合保健福祉センター	居宅支援について	未　　定
平成30年2月　（土）	三田市総合保健福祉センター	クラフトプログラムについて	未　　定

あすなろ訪問看護ステーション



毎日毎日暑い日が続いた、７月、８月、皆さんは熱中症など大丈夫でしたか？　９月に入り少し涼しくなるかなぁ～～、と期待しているのですが、一年一年暑さが増してきているようで、ちょっと期待薄かなんて言う思いもあります。なんといってもまだまだ暑さが続くようでしたら、今しばらく熱中症対策をして残暑（？）を過ごしてくださいね。

早く涼しくなぁ～～れ！！

こんなことでお困りではないですか？？

・精神科の疾患、症状について理解してもらえず困っている。

・気分的にしんどくて動けない。逆に元気な時は動きすぎて歯止めがきかない。

・誰もいないのに見られているように感じたり、声が聞こえたりする。又、その声の言う通りに動いてしまう。

・つじつまのあわない事を言ったり、行動がおかしい。独りで笑ったり、会話したりしているような事がある。又、その時の対応を家族としてどのようにしたらいいのかわからない。

・退院してきたが、今後の事が不安。又、今は生活に問題がないがこの先の事が心配。

・薬が指示通りに飲めず、調子を崩してしまうことがある。

人それぞれ困っていることは違うと思いますが、

生活しやすく、自分らしくという事を目指して一緒に考えていきませんか。

いつでも『あすなろ訪問看護スタッフ』がお待ちしています。

あすなろ訪問看護ステーション　　℡・FAX　079-562-5530

9月

特定非営利活動法人あすなろ　平成２９年９月１０１号

あ す な ろ 新 聞

ひまわり咲きました！！

４月の終わりに２０粒ほど、植えた向日葵が大きくなって３本花を咲かせてくれました。あまりに背丈が大きくなりどこまでのびるの？？って心配になるくらいでした。(*_*;　中でも３番目に咲いた花は、花が５輪もついて５つ児ちゃんでした。

ちなみにちょっと自慢ですが、神戸新聞７月１７日朝刊の三田文芸欄に向日葵の写真載せていただきました。もちろん新聞社の方が来られて写真を撮られたのですが・・・・・。

精神障害者支援センター講演会のお知らせ

「リカバリー志向の就労支援（仮）」

日　　時：2017年10月21日（土）13時30分開演予定

会　　場：三田市総合福祉保健センター・多目的ホール

講　　師：畝木奈津恵さん（社会福祉法人あすなろ福祉会・多機能型事業所あすなろ）

岡山県で就労支援にたずさわる畝木奈津恵さんをお招きし、IPSモデルにもとづくリカバリー志向の就労支援についてお話いただきます。

当事者の働きたいという希望を尊重し、当事者のリカバリーを大切にして、従来の「訓練してから就労する」ではなく「就労してから練習する」というプロセスを重視し、多くの利用者が就職されています。

特　定　非　営　利　活　動　法　人　あ　す　な　ろ

〒669-1513　兵庫県三田市三輪１丁目８番１１号　　TEL．FAX　079-562-5531

E-mail npo.asunaro@honey.ocn.ne.jp　　http://npo-asunaro.org/

ピアサポN君のピュアな散歩話　第２８弾

世の中の差別や偏見、とりわけ精神疾患を負っている人たち全般への間違った見方、色めがねなんかをすべて無くして、真に公平かつ平等、健全なる人間社会の実現を「理想」と「目標」において、拙いながらも私がピアサポーターという立ち位置を与えてもらって、福祉サービス業の一端を担うような形となり、数年があっという間に過ぎました。

人前で、自分の入院体験や考え方、思いなどを講演する度胸や勇気は、それなりについて来たように思いますが、このような啓発活動を続ける中で、はたして自分はどれだけの影響力を実際社会に対して与えることが出来ているのか、たいして何も変わらないのではないか、という疑心暗鬼というか、自信のなさ、不安のようなものが、ときどき、よぎることがあります。　事後アンケートなどに目を通すと、おおむね、いい話でした、勉強になりました、などと好評をいただく事が多く、これは思いのほか張り合いになるというか、すごくやる気が湧いて感謝で一杯の気持ちにいつもなるのですが、そのうちにだんだんと欲が出て来てしまいます。　この一時の関心・感動で終わってほしくない、というか、いつ、自分にも同様の「こころの交通事故」が起こって、精神科病院に入院することになり、いきなり自分が精神障がいの当事者となってしまうかも知れない、という事をすべての人が自覚し、障がい者を他人事のように疎外、偏見をもって見たりしないよう、目覚めていてほしい、と切に願うばかりです。

あの相模原殺傷事件やナチスに象徴されるような、優生思想、差別思想はこの時代に及んでいまだ消えることなく、一部の人々の心の根底に巣食っているという現状がなんとも悲しい限りですが、一国の大統領が、指導者が、あるまじき言動に及び非人間的な国策を取る、また、それを何ゆえに支持する人々が存在するのか、という、禅問答のような矛盾に満ちた問いに、頭を悩ます自分がある意味滑稽に見えてならなかったりもします。（N）

ピアサポーター出張公演！！

団体、サークル、学校、会社関係者の皆さま!!

精神障害当事者が出張講演いたします。

- 出張地域：市内（市外については応相談）
- 対象：市内地域団体、福祉サービス事業所、学校、会社などの団体
- 開催人数：５人程度から100人単位
- 日時：平日９時～１７時(その他の日時については応相談)
- 申込み：原則、講演開催の１ヶ月前までに申込み
- 講師：あすなろ相談支援事業所職員および精神障害ピアサポーター
- 団体や対象に合わせて調整させていただきます

あすなろ相談支援事業所　℡　079-556-5075　FAX　079-556-5275

7月3日　不登校・ひきこもりとメンタルヘルス講演会に参加して

平成29年７月３日三田市総合保険福祉センターにて船越明子さんによる『不登校・ひきこもりとメンタルヘルス』ついての講演をしていただきました。参加された方に感想を書いていただきましたのでここに紹介させていただきます。

不登校・ひきこもりのメンタルヘルスということもあり、教育機関への内容となったが、不登校・ひきこもりの支援については、教育機関を始め、家族や様々な関係機関（医療、就労、福祉）との連携が必要だと感じた。また、教育機関を離れれば、ひきこもりの方は、すぐに制度狭間に陥りやすくなるため、関係機関に繋ぐことへの重要性も示唆されたことは良かったと思う。

不登校・ひきこもりの支援については、“ひきこもりを未然に防ぎ、長期化させない（出口づくり）”ことが必要となると思うが、まだまだ支援者・家族への知識や社会資源などが足りないのが現状である。最後に、これからも社会的な要因等によって、ひきこもりに限らず、様々な課題が表面化すると思われるが、各関係機関を含め、包括的な地域づくりの必要性を改めて、感じる講義であり、勉強となりました。ありがとうございました。　（匿名さん）

数年前から関心があり講演会に参加しました。学童期、思春期のこころの動きの特徴、思春期の長期化、社会状況の変化、不登校からひきこもりに移行しないために学校・家庭ができること、ひきこもりを長期化しないための視点などわかりやすく教えていただきました。
なかなか表には出てきにくいことですが、身近に当事者、経験者もいるので地域の支援や社会的な支援体制の整備が今後ますます必要になってくると感じました。
（黒ひげ）

船越明子さんの出版物

講演中の会場風景

講演中の船越明子さん

お　知　ら　せ

あすなろの店頭販売しておりました、きぬむすめ、
こしひかりのお米は好評につき完売いたしました。
沢山のお買い上げありがとうございました。
本年度の新米は10月頃より販売させていただきます。
沢山のお買い求めお待ちしております。

賛助会員募集！！

ご協力お願いいたします！！（昨年度お世話になった方も、本年度もよろしくお願いします）

賛助会員…この法人の事業に賛助するために
入会される個人及び団体

年会費　一口　個人　２０００円
団体　３０００円

振込先　郵便振替口座番号　00900-3-272040
加入者名　特定非営利活動法人　あすなろ
他金融機関よりの振込用口座番号
店番号　099　当座番号　0272040
※通信欄に『賛助会費』とご記入ください
※ご連絡いただければ、振り込み料金無料の用紙を送らせていただきます